

浜の活力再生プラン
令和7～11年度
第3期

1 地域水産業再生委員会

組織名	屋形石地区地域水産業再生委員会
代表者名	会長 平田 芳弘（屋形石漁業協同組合 代表理事組合長）

再生委員会の構成員	屋形石漁業協同組合、唐津市（水産課）
オブザーバー	佐賀県（水産課、玄海水産振興センター）

対象となる地域の範囲及び漁業の種類	唐津市屋形石地区、横野地区（屋形石漁協の地区） 小型定置網漁業（1名） 採介藻漁業（24名） （令和6年11月時点）
-------------------	---

2 地域の現状

(1) 関連する水産業を取り巻く現状等

佐賀県玄海地区は佐賀県の北西に位置し、漁船が操業する漁場は、壱岐水道を中心に五島・対馬海域に及ぶ外洋性漁場、東松浦半島や玄海諸島周辺の沿岸漁場、唐津湾・伊万里湾等の内湾漁場からなり、漁獲対象魚種が多種にわたっている。

屋形石地区では定置網漁業及び潜水による採介藻などが営まれている。近年5か年平均水揚金額は約5,900万円となっている。

本地区においても魚価の低迷、長引く燃油価格の高止まり、漁具をはじめとする資材費の高騰等による収益の悪化、温暖化に伴う漁場環境の変化、厳しい労働環境といった漁業を取り巻く厳しい状況により、漁業後継者が育たず、漁業者数が減少している。

(2) その他の関連する現状等

屋形石地区は、公共交通アクセスがバスのみで、人口減少が進む地域である。

本地区の漁業者は、農業を兼業している経営体が主となっており、農作物と一緒に漁獲物を直売所等に出荷している。

また、令和4年より、唐津市玄海国定公園内駐車場において「七ツ釜マルシェ」を開催している。

3 活性化の取組方針

(1) 前期の浜の活力再生プランにかかる成果及び課題等

--

(2) 今期の浜の活力再生プランの基本方針

1. 漁業収入向上のための取組

(1) 蓄養等及び直売所の活用による付加価値の向上

小型定置網漁業者は、蓄養筏を活用しながら、出荷調整、直売所等への販路拡大及び出荷方法の検討を行う。

採介藻漁業者は、蓄養等による出荷調整、直売所等への販路拡大、ウニ等のブランド確立を目指す。

(2) 磯焼け対策による漁場機能の回復

採介藻漁業者は、ガンガゼ等の駆除による漁場機能改善に取り組むと共に、ウニ、アワビ等の種苗放流も実施し、資源確保に努める。併せて、駆除対象となっているムラサキウニ等の加工販売を検討する。

(3) 海藻の活用による漁業所得の向上

天然カジメは「刻みカジメ」として加工販売し、販路拡大を図る。

2. 漁業コスト削減のための対策

(1) 燃油消費量削減の取組

漁業者は、減速航行（1ノットの減速徹底）、船底及びプロペラの清掃徹底及び機器換装の際には省エネ機器導入の検討を行う。

(2) 漁労環境の改善

漁協は、漁労負担軽減やコスト削減等の対策として、共同利用施設の設置及び漁港施設整備を必要に応じて検討する。

3. 海業推進（漁村の活性化）のための取組

(1) 漁業人材育成確保

第2期プランに引き続き、漁協、市及び県は、新規就業者の確保を目的として、地元漁業の魅力についてHPやSNSを活用してPRし、初心者でも安心して漁業に従事できるような実地研修プログラムを整備、及び指導漁業者とのマッチングに取り組

む。更に、休業船の再利用やシェアリング等も検討する。

(2) 交流人口の拡充

七ツ釜観光の一環として認知されており、漁協青年部が期間限定で運営している七ツ釜観光遊覧船については、更に集客できるよう進めていく。
また、令和4年から開催している七ツ釜マルシェを発展させて、観光客を呼び込み、交流人口を拡大していく。

4. その他の取組

(1) 漁場環境の保全

関係漁業者及び漁協は、海岸清掃等により漁場環境の保全を行う。また、漁港周辺の道路等の環境保全も行う。

(2) 漁業共済・セーフティーネットへの加入の推進

漁協は、すべての漁業者に対して漁業共済及びセーフティーネット構築事業（燃油）への加入を促進する。

(3) 資源管理に係る取組

① 操業隻数、期間等の規制遵守による資源へ与える負荷の抑制

漁業法、佐賀県漁業調整規則、松浦海区漁業調整委員会指示

② 共同漁業権行使規則に基づく制限の徹底による資源保護

(4) 具体的な取組内容

1年目（令和7年度） 所得向上率（基準年比）1.6%

漁業収入向上のための取組	<p>(1) 蓄養等及び直売所の活用による付加価値の向上 小型定置網漁業者は、蓄養筏を活用しながら、出荷調整、活魚出荷を進める。併せて、市場より魚価上昇が見込める販売先を検討する。 採介藻漁業者は、蓄養等による出荷調整、直売所やインターネット販売による販路拡大を図る。また、ウニ販売時にシールを貼り、屋形石ブランドとして確立を目指す。</p> <p>(2) 磯焼け対策による漁場機能の回復 採介藻漁業者は、ガンガゼ等の駆除による漁場機能改善に取り組む。近年、南方性ウニであるガンガゼの増加や、大量発生したムラサキウニが磯焼けの一因となっている。そこで、ガンガゼ等の駆除により、藻場機能の回復を目指し、漁獲量の増加を図ると共に、ウニ、アワビ等の種苗放流も実施し、資源確保に努める。併せて、駆除対象であるムラサキウニ等を加工販売する。</p> <p>(3) 海藻の活用による漁業所得の向上 天然カジメは「刻みカジメ」として加工販売し、販路拡大を図る。</p>
漁業コスト削減のための取組	<p>(1) 燃油消費量削減の取組 漁業者は、減速航行（1ノットの減速徹底）、船底及びプロペラの清掃の徹底を行う。機器換装の際には省エネ機器導入の検討を行う。</p> <p>(2) 漁労環境の改善</p>

	<p>漁協は、漁労負担軽減やコスト削減等の対策として、共同利用施設の設置及び漁港施設整備を必要に応じて検討する。</p>
<p>海業推進（漁村の活性化）のための取組</p>	<p>(1) 漁業人材育成確保 第2期プランに引き続き、漁協、市及び県は、新規就業者の確保を目的として、地元漁業の魅力についてHPやSNSを活用してPRする。</p> <p>(2) 交流人口の拡充 漁協青年部運営の七ツ釜観光遊覧船や漁協海士部会主催の七ツ釜マルシェを定期的を開催することにより、唐津市及び周辺地域の方々や観光客に屋形石について知ってもらおうきっかけとする。</p>
<p>活用する支援措置等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・漁場生産力・水産多面的機能強化対策事業（国） ・競争力強化型機器等導入緊急対策事業（国） ・複合経営等漁家経営改善支援事業（県・市） ・漁業経営セーフティネット構築事業（国） ・唐津市漁業用燃油高騰緊急対策事業（市） ・新規漁業就業者総合支援事業（国） ・唐津市明日の漁業者チャレンジ支援事業（市）

2年目（令和8年度） 所得向上率（基準年比）3.2%

<p>漁業収入向上のための取組</p>	<p>(1) 蓄養等及び直売所の活用による付加価値の向上 小型定置網漁業者は、蓄養筏を活用しながら、出荷調整、活魚出荷を進める。併せて、市場より魚価上昇が見込める販売先を検討する。 採介藻漁業者は、蓄養等による出荷調整、直売所やインターネット販売による販路拡大を図る。また、ウニ販売時にシールを貼り、屋形石ブランドとして確立を目指す。</p> <p>(2) 磯焼け対策による漁場機能の回復 採介藻漁業者は、ガンガゼ等の駆除による漁場機能改善に取り組む。近年、南方性ウニであるガンガゼの増加や、大量発生したムラサキウニが磯焼けの一因となっている。そこで、ガンガゼ等の駆除により、藻場機能の回復を目指し、漁獲量の増加を図ると共に、ウニ、アワビ等の種苗放流も実施し、資源確保に努める。併せて、駆除対象であるムラサキウニ等を加工販売する。</p> <p>(3) 海藻の活用による漁業所得の向上 天然カジメは「刻みカジメ」として加工販売し、販路拡大を図る。</p>
<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<p>(1) 燃油消費量削減の取組 漁業者は、減速航行（1ノットの減速徹底）、船底及びプロペラの清掃の徹底を行う。機器換装の際には省エネ機器導入の検討を行う。</p> <p>(2) 漁労環境の改善 漁協は、漁労負担軽減やコスト削減等の対策として、共同利用施設の設置及び漁港施設整備を必要に応じて検討する。</p>
<p>海業推進（漁村の活性化）のための取組</p>	<p>(1) 漁業人材育成確保 第2期プランに引き続き、漁協、市及び県は、新規就業者の確保を目的として、地元漁業の魅力についてHPやSNSを活用してPRす</p>

	<p>る。</p> <p>(2) 交流人口の拡充 漁協青年部運営の七ツ釜観光遊覧船や漁協海士部会主催の七ツ釜マルシェを定期的開催することにより、唐津市及び周辺地域の方々や観光客に屋形石について知ってもらおうきっかけとする。</p>
活用する支援措置等	<ul style="list-style-type: none"> ・漁場生産力・水産多面的機能強化対策事業（国） ・競争力強化型機器等導入緊急対策事業（国） ・複合経営等漁家経営改善支援事業（県・市） ・漁業経営セーフティネット構築事業（国） ・唐津市漁業用燃油高騰緊急対策事業（市） ・新規漁業就業者総合支援事業（国） ・唐津市明日の漁業者チャレンジ支援事業（市）

3年目（令和9年度） 所得向上率（基準年比）5.2%

漁業収入向上のための取組	<p>(1) 蓄養等及び直売所の活用による付加価値の向上 小型定置網漁業者は、蓄養筏を活用しながら、出荷調整、活魚出荷を進める。併せて、市場より魚価上昇が見込める販売先を検討する。 採介藻漁業者は、蓄養等による出荷調整、直売所やインターネット販売による販路拡大を図る。また、ウニ販売時にシールを貼り、屋形石ブランドとして確立を目指す。</p> <p>(2) 磯焼け対策による漁場機能の回復 採介藻漁業者は、ガンガゼ等の駆除による漁場機能改善に取り組む。近年、南方性ウニであるガンガゼの増加や、大量発生したムラサキウニが磯焼けの一因となっている。そこで、ガンガゼ等の駆除により、藻場機能の回復を目指し、漁獲量の増加を図ると共に、ウニ、アワビ等の種苗放流も実施し、資源確保に努める。併せて、駆除対象であるムラサキウニ等を加工販売する。</p> <p>(3) 海藻の活用による漁業所得の向上 天然カジメは「刻みカジメ」として加工販売し、販路拡大を図る。</p>
漁業コスト削減のための取組	<p>(1) 燃油消費量削減の取組 漁業者は、減速航行（1ノットの減速徹底）、船底及びプロペラの清掃の徹底を行う。機器換装の際には省エネ機器導入の検討を行う。</p> <p>(2) 漁労環境の改善 漁協は、漁労負担軽減やコスト削減等の対策として、共同利用施設の設定及び漁港施設整備を必要に応じて検討する。</p>
海業推進（漁村の活性化）のための取組	<p>(1) 漁業人材育成確保 第2期プランに引き続き、漁協、市及び県は、新規就業者の確保を目的として、地元漁業の魅力についてHPやSNSを活用してPRする。</p> <p>(2) 交流人口の拡充 漁協青年部運営の七ツ釜観光遊覧船や漁協海士部会主催の七ツ釜マ</p>

	ルシェを定期的開催することにより、唐津市及び周辺地域の方々や観光客に屋形石について知ってもらうきっかけとする。
活用する支援措置等	<ul style="list-style-type: none"> ・漁場生産力・水産多面的機能強化対策事業（国） ・競争力強化型機器等導入緊急対策事業（国） ・複合経営等漁家経営改善支援事業（県・市） ・漁業経営セーフティネット構築事業（国） ・唐津市漁業用燃油高騰緊急対策事業（市） ・新規漁業就業者総合支援事業（国） ・唐津市明日の漁業者チャレンジ支援事業（市）

4年目（令和10年度） 所得向上率（基準年比）7.4%

漁業収入向上のための取組	<p>(1) 蓄養等及び直売所の活用による付加価値の向上 小型定置網漁業者は、蓄養筏を活用しながら、出荷調整、活魚出荷を進める。併せて、市場より魚価上昇が見込める販売先を検討する。 採介藻漁業者は、蓄養等による出荷調整、直売所やインターネット販売による販路拡大を図る。また、ウニ販売時にシールを貼り、屋形石ブランドとして確立を目指す。</p> <p>(2) 磯焼け対策による漁場機能の回復 採介藻漁業者は、ガンガゼ等の駆除による漁場機能改善に取り組む。近年、南方性ウニであるガンガゼの増加や、大量発生したムラサキウニが磯焼けの一因となっている。そこで、ガンガゼ等の駆除により、藻場機能の回復を目指し、漁獲量の増加を図ると共に、ウニ、アワビ等の種苗放流も実施し、資源確保に努める。併せて、駆除対象であるムラサキウニ等を加工販売する。</p> <p>(3) 海藻の活用による漁業所得の向上 天然カジメは「刻みカジメ」として加工販売し、販路拡大を図る。</p>
漁業コスト削減のための取組	<p>(1) 燃油消費量削減の取組 漁業者は、減速航行（1ノットの減速徹底）、船底及びプロペラの清掃の徹底を行う。機器換装の際には省エネ機器導入の検討を行う。</p> <p>(2) 漁労環境の改善 漁協は、漁労負担軽減やコスト削減等の対策として、共同利用施設の設置及び漁港施設整備を必要に応じて検討する。</p>
海業推進（漁村の活性化）のための取組	<p>(1) 漁業人材育成確保 第2期プランに引き続き、漁協、市及び県は、新規就業者の確保を目的として、地元漁業の魅力についてHPやSNSを活用してPRする。</p> <p>(2) 交流人口の拡充 漁協青年部運営の七ツ釜観光遊覧船や漁協海士部会主催の七ツ釜マルシェを定期的開催することにより、唐津市及び周辺地域の方々や観光客に屋形石について知ってもらうきっかけとする。</p>
活用する支援措置等	<ul style="list-style-type: none"> ・漁場生産力・水産多面的機能強化対策事業（国） ・競争力強化型機器等導入緊急対策事業（国） ・複合経営等漁家経営改善支援事業（県・市）

	<ul style="list-style-type: none"> ・漁業経営セーフティーネット構築事業（国） ・唐津市漁業用燃油高騰緊急対策事業（市） ・新規漁業就業者総合支援事業（国） ・唐津市明日の漁業者チャレンジ支援事業（市）
--	--

5年目（令和11年度） 所得向上率（基準年比）10.4%

漁業収入向上のための取組	<p>(1) 蓄養等及び直売所の活用による付加価値の向上 小型定置網漁業者は、蓄養筏を活用しながら、出荷調整、活魚出荷を進める。併せて、市場より魚価上昇が見込める販売先を検討する。 採介藻漁業者は、蓄養等による出荷調整、直売所やインターネット販売による販路拡大を図る。また、ウニ販売時にシールを貼り、屋形石ブランドとして確立を目指す。</p> <p>(2) 磯焼け対策による漁場機能の回復 採介藻漁業者は、ガンガゼ等の駆除による漁場機能改善に取り組む。近年、南方性ウニであるガンガゼの増加や、大量発生したムラサキウニが磯焼けの一因となっている。そこで、ガンガゼ等の駆除により、藻場機能の回復を目指し、漁獲量の増加を図ると共に、ウニ、アワビ等の種苗放流も実施し、資源確保に努める。併せて、駆除対象であるムラサキウニ等を加工販売する。</p> <p>(3) 海藻の活用による漁業所得の向上 天然カジメは「刻みカジメ」として加工販売し、販路拡大を図る。</p>
漁業コスト削減のための取組	<p>(1) 燃油消費量削減の取組 漁業者は、減速航行（1ノットの減速徹底）、船底及びプロペラの清掃の徹底を行う。機器換装の際には省エネ機器導入の検討を行う。</p> <p>(2) 漁労環境の改善 漁協は、漁労負担軽減やコスト削減等の対策として、共同利用施設の設置及び漁港施設整備を必要に応じて検討する。</p>
海業推進（漁村の活性化）のための取組	<p>(1) 漁業人材育成確保 第2期プランに引き続き、漁協、市及び県は、新規就業者の確保を目的として、地元漁業の魅力についてHPやSNSを活用してPRする。</p> <p>(2) 交流人口の拡充 漁協青年部運営の七ツ釜観光遊覧船や漁協海士部会主催の七ツ釜マルシェを定期的開催することにより、唐津市及び周辺地域の方々や観光客に屋形石について知ってもらおうきっかけとする。</p>
活用する支援措置等	<ul style="list-style-type: none"> ・漁場生産力・水産多面的機能強化対策事業（国） ・競争力強化型機器等導入緊急対策事業（国） ・複合経営等漁家経営改善支援事業（県・市） ・漁業経営セーフティーネット構築事業（国） ・唐津市漁業用燃油高騰緊急対策事業（市） ・新規漁業就業者総合支援事業（国） ・唐津市明日の漁業者チャレンジ支援事業（市）

(5) 関係機関との連携

行政（県、市）、系統団体（信漁連、共済組合等）と継続して連携してプランに取り組み。更に、水産物に関連する地元の流通、小売、飲食店・旅館等の業者と連携を強化していく。

(6) 取組の評価・分析の方法・実施体制

浜プランの取組の成果を評価・分析するため、委員会は各計画年度の期末に開催する会議において、委員会事務局が策定した次年度中間報告案に佐賀県玄海水産振興センターによる評価意見を付した浜プラン評価案を審議・決定し、次年度の取組の改善等につなげる。

4 目標

(1) 所得目標

漁業者の所得 の向上 10%以上	基準年	
	目標年	

(2) 上記の算出方法及びその妥当性

--

(3) 所得目標以外の成果目標

① 所得向上の取組に係る成果目標

駆除対象ウニの商品化 (ムラサキウニ)	基準年	令和5年度：	0	(kg)
	目標年	令和11年度：	7	(kg)

② 漁村活性化の取組に係る成果目標

新規漁業就業者数の増加 (家族従事者としての就業者を含む)	基準年	令和元～令和5年度 累計：	2	(人)
	目標年	令和7～令和11年度 累計：	2	(人)

(4) 上記の算出方法及びその妥当性

<p>下記のとおり算出した。現状に即した目標設定となっており、妥当である。</p> <p>① 駆除対象ウニの商品化 大量発生したムラサキウニは今まで駆除してきたが、塩ウニ等として販売を検討。各年塩ウニを7kg生産することを目標とし、所得向上を図る。</p> <p>② 新規漁業就業者数の増加 過去の新規漁業就業者数（家族従事者としての就業者を含む）は、令和元年度：0人、令和2年度：0人、令和3年度：0人、令和4年度：2人、令和5年度：0人（5年累計2人）となっている。漁業権更新（令和5年9月）に係る既存漁場の拡大や新規漁場もあることから、令和7年度以降の目標として、令和11年度までに累計2名の新規漁業就業者の増員（5年累計2人）を図る。</p>

5 関連施策

活用を予定している関連施策名とその内容及びプランとの関係性

事業名	事業内容及び浜の活力再生プランとの関係性
浜の活力再生・成長促進交付金（国）	共用施設等の整備を行う。
水産業競争力強化緊急施設整備事業（国）	共用施設等の整備を行う。
農山漁村振興交付金（国）	共用施設等の整備を行う。
水産基盤整備事業（国）	共用施設等の整備を行う。
漁場生産力・水産多面的機能強化対策事業（国）	海岸清掃やガンガゼの駆除等により、漁場環境の保全を行う。
漁業経営セーフティーネット構築事業（国）	燃油高騰の負担を軽減することにより漁業コストの削減を行う。
唐津市漁業用燃油高騰緊急対策事業（市）	燃油高騰の負担を軽減することにより漁業コストの削減を行う。
漁業人材育成総合支援事業（国）	地域外からの新規就業者の受入体制を整備し、地域漁業の担い手を確保する。
省燃油活動推進事業（国）	減速航行及び船底などの清掃により漁業コストの削減を行う。
競争力強化型機器等導入緊急対策事業（国）	省エネ型機器の導入により漁業コストの削減を行う。
佐賀県沿岸漁業振興特別対策事業（県）	蓄養筏、漁港設備（上架施設、係留施設等）等の整備を必要に応じて行う。
唐津市明日の漁業者チャレンジ支援事業（市）	地域内の漁家子弟の就業により、地域漁業の担い手を確保する。
複合経営等漁家経営改善支援事業（県・市）	漁業者、漁業者グループが複合経営等の漁家経営改善に取り組む。